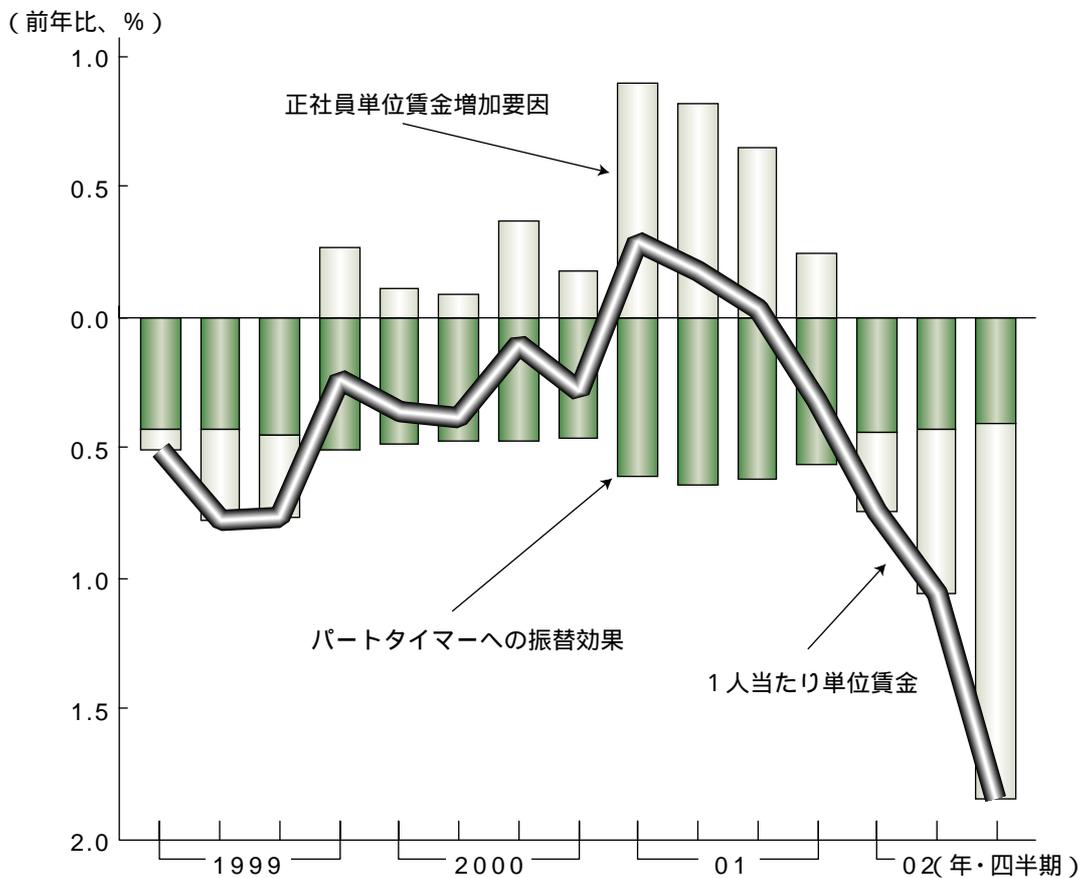


## 1人当たり単位賃金の推移



(注) 1. 1人当たり単位賃金はボーナスを含んだ一人当たり給与総額を労働時間で除したもの。  
2. 4期移動平均値。  
(資料) 厚生労働省「毎月勤労統計」

グラフは1人当たり単位賃金の推移を見たものである。1人当たり単位賃金は足元にかけて大幅に減少している。その内訳を見ると、正社員からパートタイマーへの雇用振り替えが単位賃金を下押しする状況に変化がないなか、正社員単位賃金の減少の影響が著しい。

昨年の春闘において、賃上げ率は1.66%（主要企業、厚生労働省調べ）と過去最低を記録した。その結果を受け、所定内賃金の上昇が抑えられているほか、景気低迷によ

りボーナスが大幅にカットされたことが正社員単位賃金の大幅な減少の原因であると考えられる。

今春闘も厳しい結果になることが見込まれる。物価下落、労働分配率の高止まりが続く状況で、ベアを期待するのは難しい。むしろ、多くの組合でメインのテーマは定昇確保、雇用確保となっている。

1人当たり単位賃金の減少は先行きも暫く続きそうである。

(名取 就一郎 TEL.03-3201-0211)